

第30回エコクリティシズム研究学会

日時：2017年8月5日（土）9時25分～17時00分

場所：サテライトキャンパスひろしま 505号室（広島市中区大手町1丁目5-3）

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/>

プ ロ グ ラ ム

総合司会 真野 剛（海上保安大学校）

9時25分 開会の辞 伊藤詔子（SES-J代表）

9時30分～10時40分 **研究発表**（発表25分 質疑10分）

1. 谷岡知美（広島工業大学）「アレン・ギンズバーグとボブ・ディラン
——アメリカ1970年代の風景」

司会：塩田 弘（広島修道大学）

2. 平瀬洋子（広島国際学院大学）『グレート・ギャツビー』における
エコクリティシズム——ギャツビーとgreenの関係について」

司会：浅井千晶（千里金蘭大学）

〈10分休憩〉

10時50分～12時20分

ワークショップ

「*Material Ecocriticism* (Indiana UP, 2014) を中心とするマテリアル・
エコクリティシズムの動向について」

司会・担当：藤江啓子（愛媛大学）

担 当：芳賀浩一（城西国際大学）／伊藤詔子（広島大学）

12時20分～13時00分 昼食休憩

13時00分～15時00分

シンポジウム

核と環境 (1) 「核とポストモダン文学」

司会：松岡信哉（龍谷大学）

講師：三重野佳子（別府大学）「ホロコーストと核のイメージの融合——バーナード・

マラマッド『コーンの孤島』とポール・オースター『最後の物たちの国で』

デビッド・ファーネル（福岡大学）「“Like Tears in Rain”: Philip K. Dick とポスト
アポカリプスの自然」

川村亜樹（愛知大学）「Jonathan Franzen の *Purity* における過剰な核」

松岡信哉「SF 的想像力が描く核と環境——Don DeLillo と大江健三郎の apocalyptic
fiction」

〈10分休憩〉

15時10分～16時10分

特別講演

講師：渡邊克昭氏（大阪大学教授、日本アメリカ文学会前関西支部長）

「ドン・デリーロの惑星的想像力の場としての“Convergence”

——『ゼロ K』における「ポストヒューマン・ボディー」とアース・アート」

司会：伊藤詔子

16時20分～17時00分 総会

17時 閉会の辞 藤江啓子（学会副代表、愛媛大学）

17時30分～19時30分 懇親会（幹事 谷岡知美 ホテルサンルート広島 15階

日本料理「吉水」 <http://www.hiroshima-kissui.jp/>

問い合わせ先 ⇨ The Office of SES-Japan mizuno@sanyo-u.ac.jp